


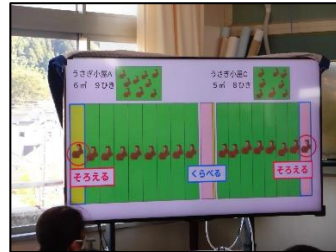



1 好事例について

	事例1	事例2	事例3	事例4	事例5
学年	1年	3年	4年	5年	6年
教科	算数	英語	図工	算数	国語
場面	4	3	1	4	2
写真					
工夫	板書に示してある図とオクリンクでの操作が対応するように図を動かし、10のまとまりを作った。	動物に関する問題をオクリンクで作成し、異学年に出題することで、相手意識をもって取り組むことができた。	釘を打つ手元だけを動画に撮って見せたことで、作業上、見せたいシーンを焦点化することが出来た。	単分量あたりで考えるということ、式の理解だけでなく、図でも理解できるように提示した。	自分が伝えたいことが伝わる写真をWebで探し、成果物に挿入させることで、相手意識をもつことができた。

2 教科・学年・学級間で偏りが生じないようにするための工夫について

- ・各学年に1人、情報担当の先生を配置し、推進委員会において端末の活用状況を確認している。
また、その会で各学年に授業での活用を依頼し、端末を活用した教材研究も行った。授業後にフィードバックを行い、次年度にむけてよりよい端末の活用ができるようにしている。
- ・高学年は、曜日を決めて、朝自習にタイピング練習を行っている。
- ・研修用のクラスルームで、端末活用に関する情報を発信している。